



韓国

28 医療施設拡充事業(2)

A

B

C

D

既存病院に対し医療器材を供与することにより、治療施設の拡充および医療体制の地域間格差是正を図り、もって同国の経済成長に合致した高度医療整備および地域医療整備に寄与する。

承諾額/実行額 123億円/75億8,000万円
借款契約調印 1985年12月
借款契約条件 金利5.0%、返済25年(うち据置7年)、一般アンタイド
貸付完了 1993年12月



外部評価者 山下武(株)コーエイ総合研究所)
現地調査 2003年8月

評価結果

本事業では、計画を上回る44カ所の病院に対して医療器材の供与および計4,500以上の病床増設のための土木工事が実施された。期間は、精神病院建設予定地周辺住民の反対運動への対応等により計画を大幅に上回ったが、事業費は、競争入札等による効率的な受注が行われたため、計画を大幅に下回った。特殊疾患センターがある私立延世大病院では、心臓・血管治療専門棟建設にあわせて心臓血管撮影システム等が整備された。同病院は、韓国で初の心臓移植手術や脳脊髄膜炎の手術を行った実績を有しており、その際に本事業調達器材が活用された。また、本事業を通じて精神病院分院11カ所、計2,789病床が増設されたが、これは1984～93年までの10年に韓国において増設された精神病院病床数の13.8%にあたる。ソウル郊外の安養市の精神病院では、調達した院内監視システムや脳波計等を、診察、治療や社会復帰の

ためのリハビリに活用している。このように、医療体制の高度化に加え、資金不足であった全国の病院に医療器材が供与されたことにより、全国的にバランスのとれた医療体制が確立された。医療器材が供与された多くの病院の技術、体制、財務面については問題はない。ただし、一部の病院で、経営の悪化によって韓国政府への返済が滞っている。そのため、保健福祉部はすでに各病院の経営分析調査を実施しており、その結果を踏まえ、さまざまな対策を検討している。

第三者意見

農村部の人口減少などにより、財政が厳しい病院が一部みられるが、セブランス病院が循環器治療で最先端の施設となるなど、本事業は医療の質の向上に貢献している。

有識者 Mr. Joon-Mo Yang

カリフォルニア大学博士課程修了(経済学)。現在延世大学経済学部助教授。専門は経済全般。

特殊疾患センターの治療体制強化



二方向心臓血管撮影システム

専用フィルムプロジェクター

本事業で調達された二方向心臓血管撮影システムは、心臓病の患者の診察には欠かせないものであり、年間3,000～4,000人の患者に使用されている。撮影後のフィルムは、専用フィルムプロジェクターで確認できる(写真は、本事業を通じて調達された機器と同型の機器)。

精神病の病床数の増加

		1984年	1993年	2001年
精神病院	国・公立	1,930	4,284	7,551
	私立	1,022	5,763	20,640
一般病院精神科		3,155	6,872	18,587
精神療養所		8,349	17,696	13,960
社会復帰施設		0	0	301
合計		14,456	34,615	61,039
1万人あたり病床数		0.358	0.786	1.280

出所:保健福祉部統計年鑑

精神病院の病床数は、審査時(1984年)には14,456病床であったのが、事業完成時(1993年)には34,615病床と増加し、2001年には61,039病床となった。その結果、1万人あたりの病床数も0.358病床(1984年)から1.280病床(2001年)へと増加している。